# 2025年04月
# イーアイデム会員対象アンケート結果

**TOPICS**

仕事内容に報酬が見合っていないと
モチベーションの低下につながる人は32.9％

株式会社アイデム
メディアソリューション事業本部　データリサーチチーム

(c) AIDEM Inc.

## 調査名

- 【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

## 調査目的

- 現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

## 調査対象

- 総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2025/04/01～2025/04/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

## 調査期間

- 2025/04/02～2025/05/05 （34日間）

## 調査方法

- インターネットリサーチ

## 有効回答数

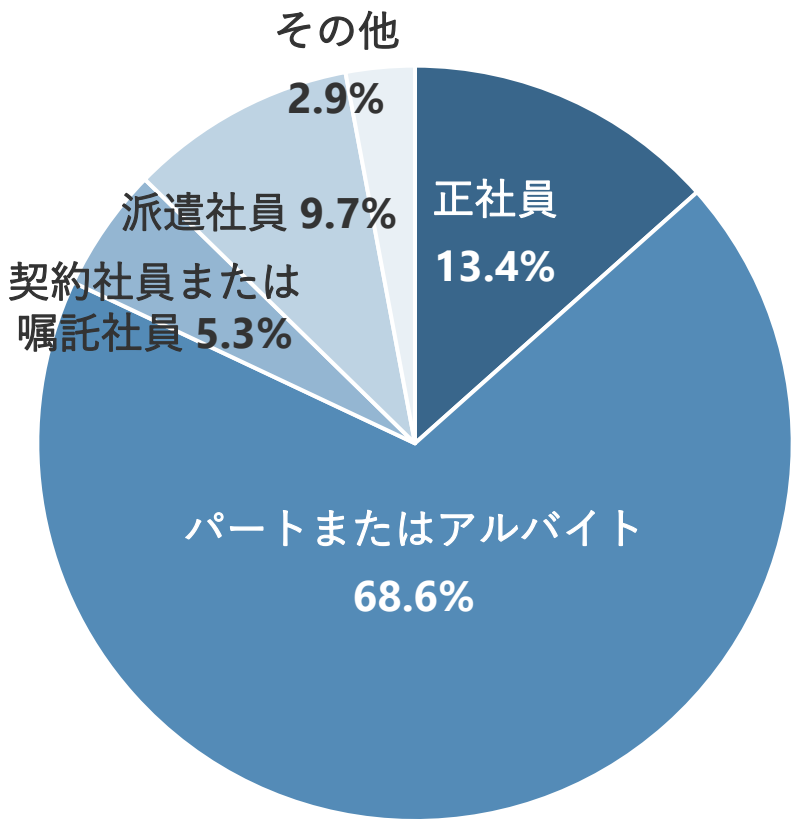
- 678件

※調査結果は四捨五入のために合計が100％にならない場合があります

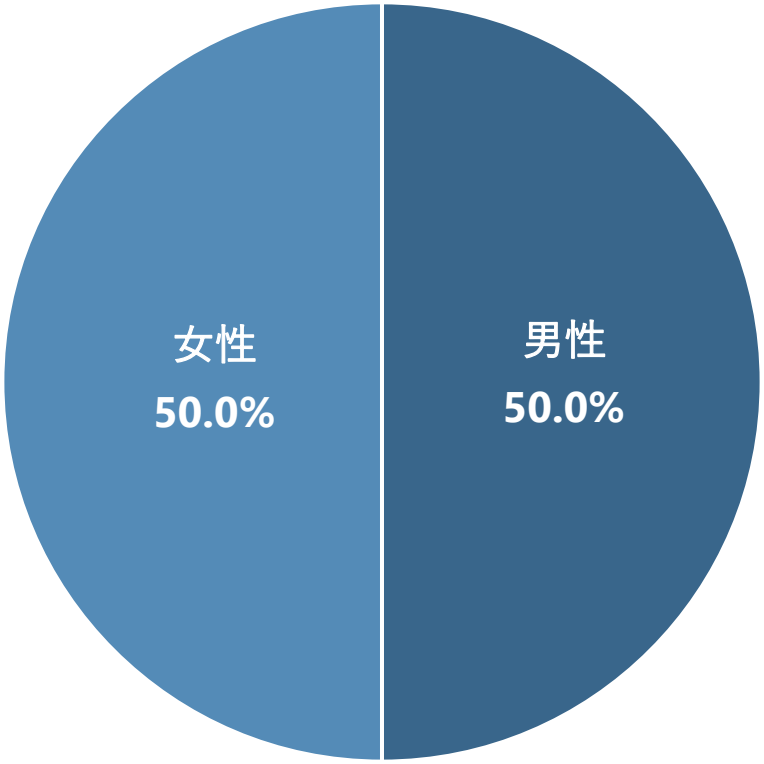

(c) AIDEM Inc.

# 回答者プロフィール

## 希望する雇用形態




## 性別





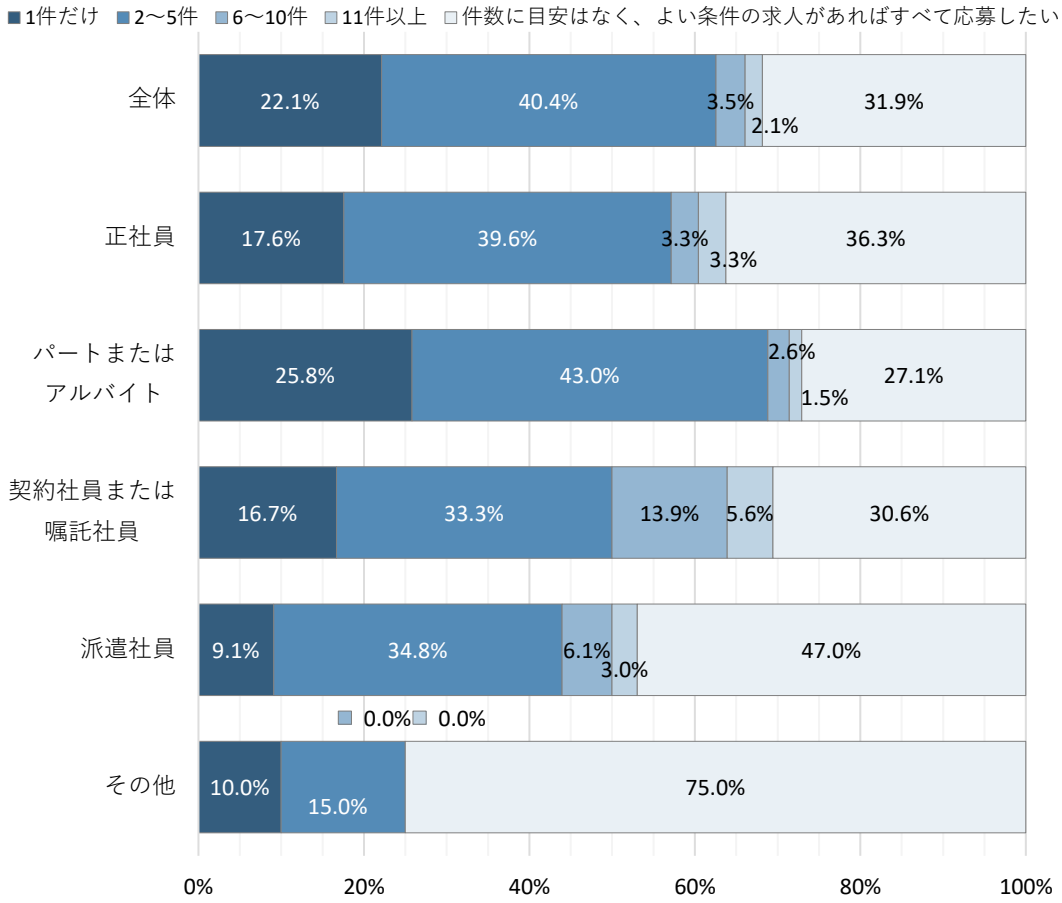
(c) AIDEM Inc.

# 応募件数の目安

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2〜5件」が最も多く40.4%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があれはすべて応募したい」が31.9%、「1件だけ」が22.1%、「6〜10件」が3.5%、「11件以上」が2.1%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の約8割となった。

希望雇用形態別にみると、「パートまたはアルバイト」では「2〜5件」応募するとした割合が43.0%、「1件だけ」が25.8%となった。応募件数に目安を設けて活動している人が多い。

今回の求職活動期間の中で、
およそ何件ほど応募しようと思いますか。





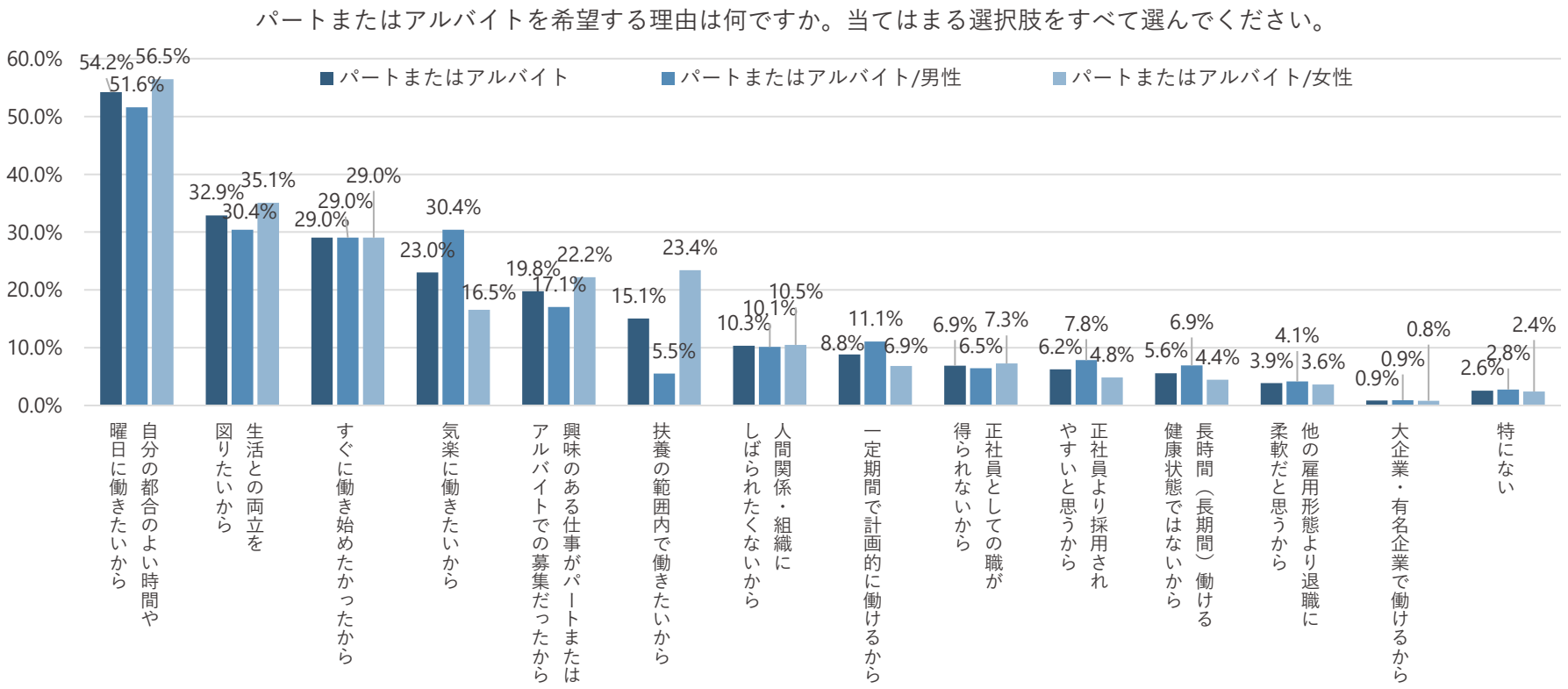
(c) AIDEM Inc.

# パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で54.2%、次いで「生活との両立を図りたいから」が32.9%、「すぐに働き始めたかったから」が29.0%となった。

性別との関係をみると、「男性」のほうが「女性」よりも「気楽に働きたいから」が13.9pt高くなった。約3人に1人は気持ちの面で負担が少ないだろうと考えてパート・アルバイトを選んでいるようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が17.9pt、「興味のある仕事がパートまたはアルバイトでの募集だったから」が5.1pt高くなった。限られた範囲の中で働くことのできるスタイルを探していることがわかる。




イーアイデム会員アンケート （2025年04月調査）

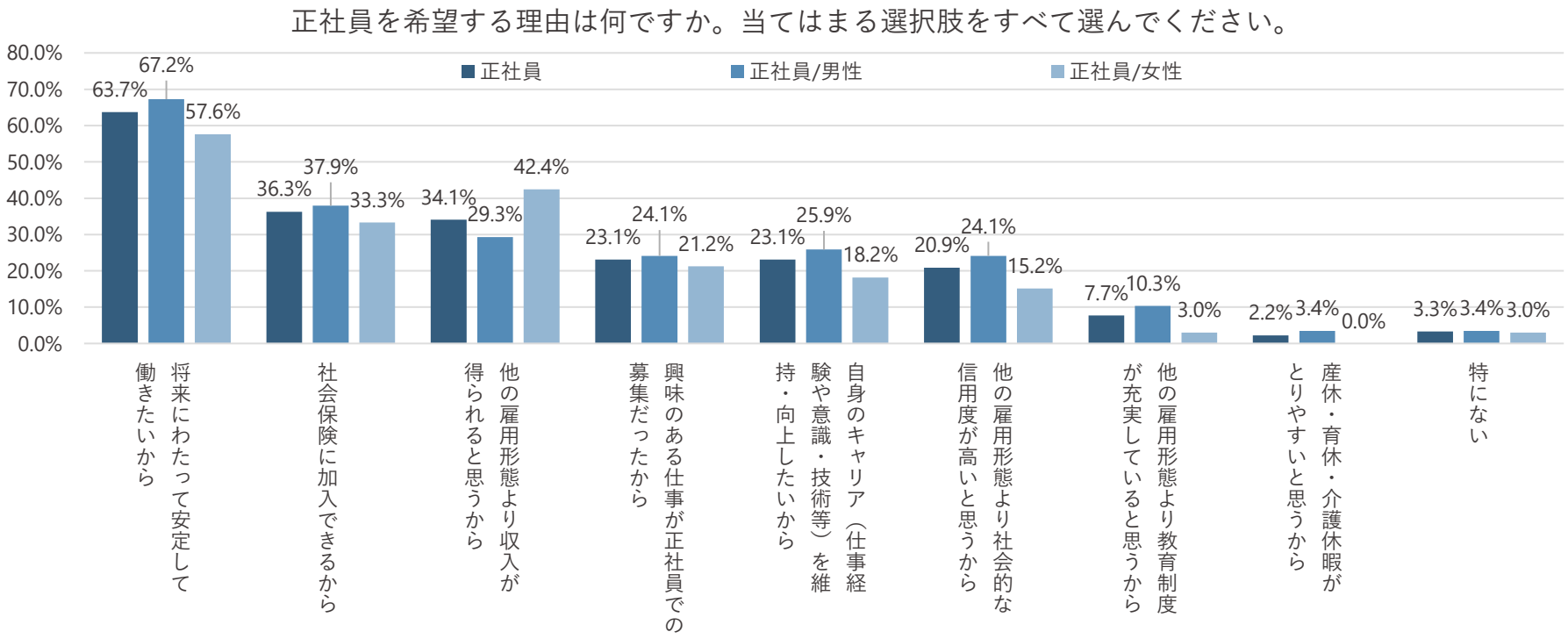
(c) AIDEM Inc.

# 正社員を希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が63.7%、次いで「社会保険に加入できるから」が36.3%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が34.1%となっている。

性別との関係をみると、「男性」のほうが「女性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が9.6pt、「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が8.9pt、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が7.7pt高くなった。また、ほとんどの項目で男性のほうが選択する割合が高くなった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が13.1pt高くなった。収入面を重視して「正社員」を選ぶ人が、男性より高い割合となった。





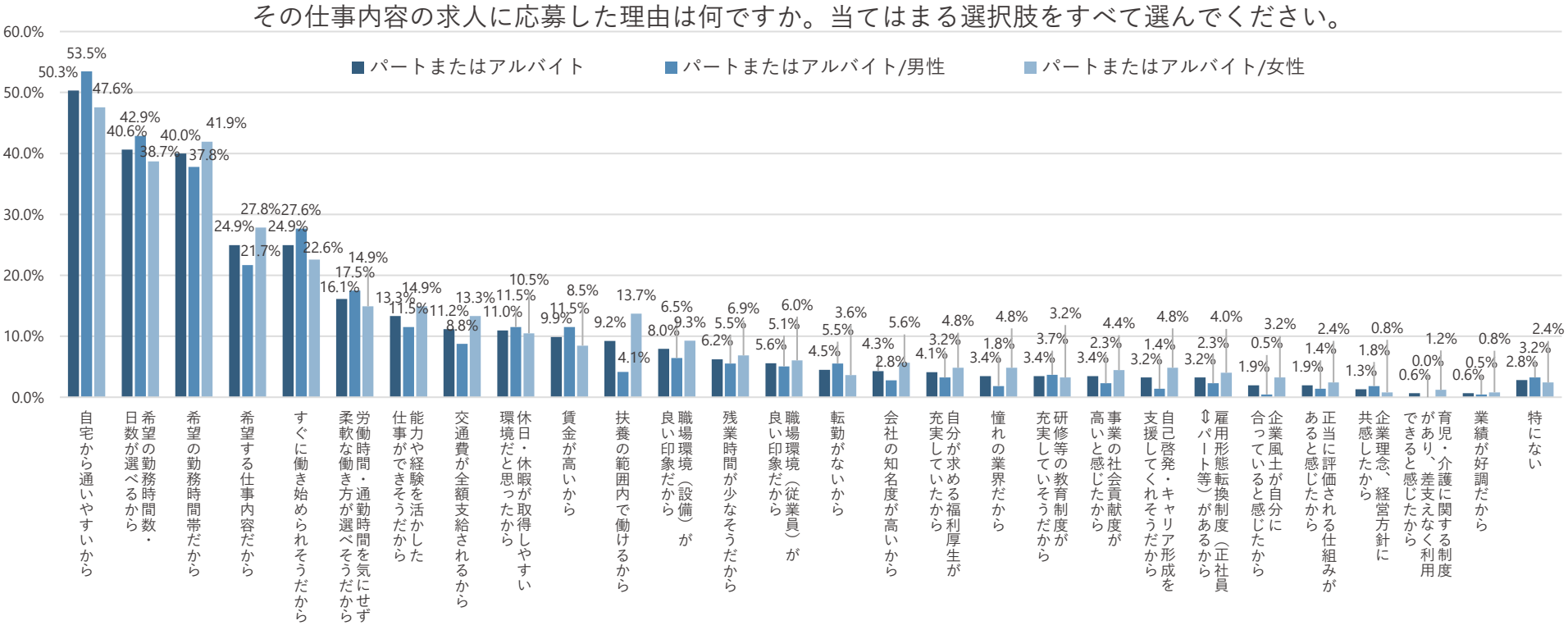
(c) AIDEM Inc.

# 求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で50.3%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が40.6%、「希望の勤務時間帯だから」が40.0% となった。

性別との関係をみると、「男性」のほうが「女性」よりも「自宅から通いやすいから」が5.9pt、「すぐに働き始められそうだから」が5.0pt高くなった。アクセスの良さのほか、仕事を始められるようになるまでの期間が短い求人が、女性より選ばれているようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が9.6pt、「希望する仕事内容だから」が6.1pt高くなった。収入に制限がある範囲での仕事探しや、仕事内容を男性以上に重視しているところは、女性がパート・アルバイトを選んでいる理由とも共通している（P5）。





(c) AIDEM Inc.

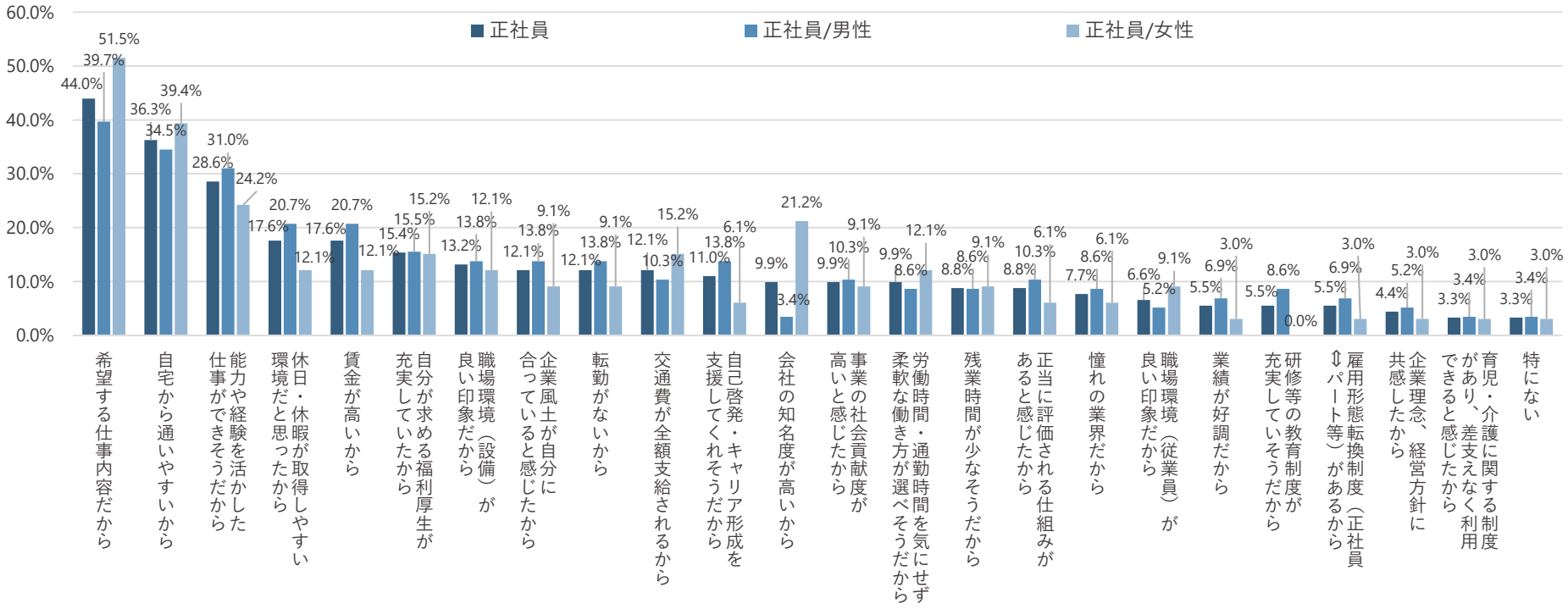
# 求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「希望する仕事内容だから」が44.0%、「自宅から通いやすいから」が36.3%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が28.6%となった。

性別との関係をみると、「男性」のほうが「女性」よりも「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」、「賃金が高いから」、「研修等の教育制度が充実していそうだから」が8.6pt高くなった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「会社の知名度が高いから」が17.8pt、「希望する仕事内容だから」が11.8pt高くなった。もともと自身が知っている企業であれば安心につながりやすく、応募しやすいのかもしれない。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。





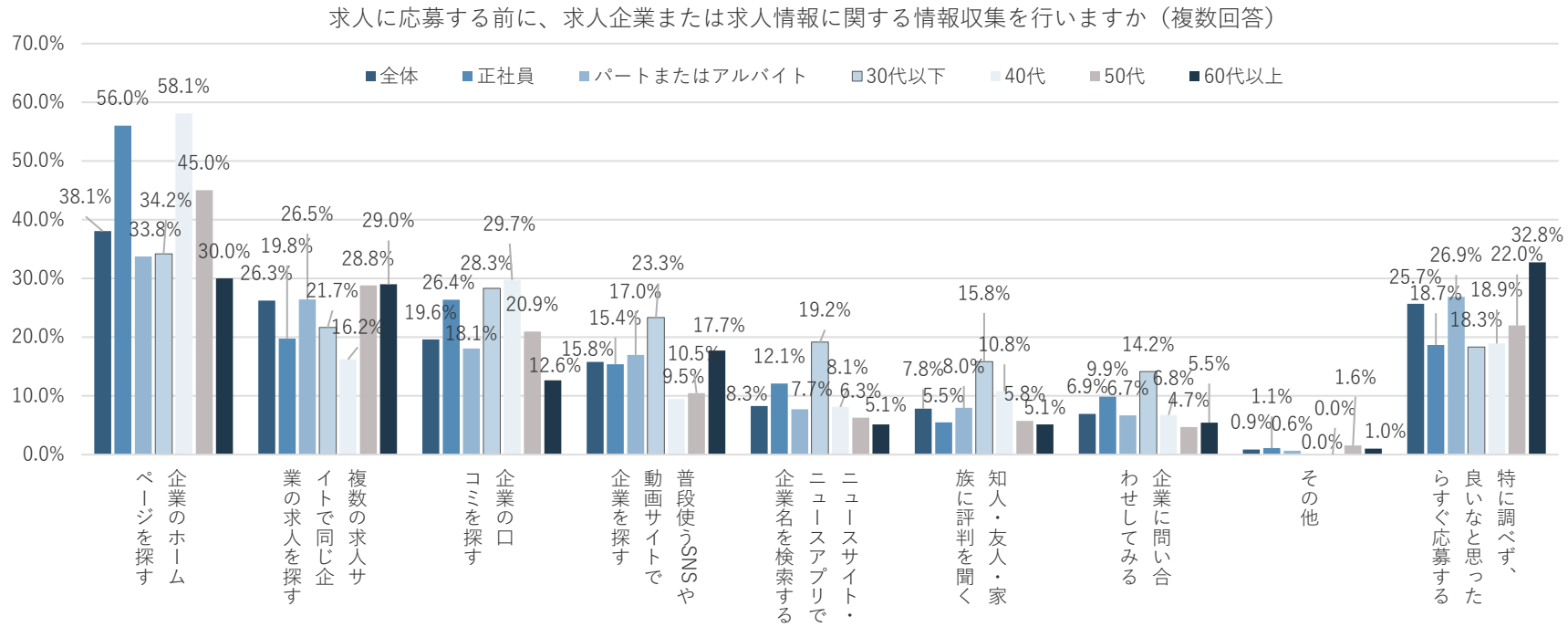
(c) AIDEM Inc.

# 応募前の情報収集について

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、求人に応募する前に求人企業または求人情報に関する情報収集をするかどうかきいた（複数回答）。全体では「企業のホームページを探す」が38.1%で最多、次いで「複数の求人サイトで同じ企業の求人を探す」が26.3%、「企業の口コミを探す」が19.6%となった。「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」人は25.7%で、4人に3人は、求人情報に加えて様々な手段で情報を吟味しているようだ。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」を希望する人では「企業のホームページを探す」が56.0%で最多となっている。一方「パートまたはアルバイト」を希望する人では、「企業ホームページを探す」が最も多いものの33.8%に留まり、「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が26.9%と高くなっている。

年代別にみると、「30代以下」では「普段使うSNSや動画サイトで企業を探す」が23.3%、「ニュースサイト・ニュースアプリで企業名を検索する」が19.2%で、他の年代よりも高い割合となった。直近の報道やリリース、応募先がどんな発信をしているのかを気にしているようだ。「60代以上」では「特に調べず、いいなと思ったらすぐ応募する」が32.8%で、応募まで早い人が多かった。



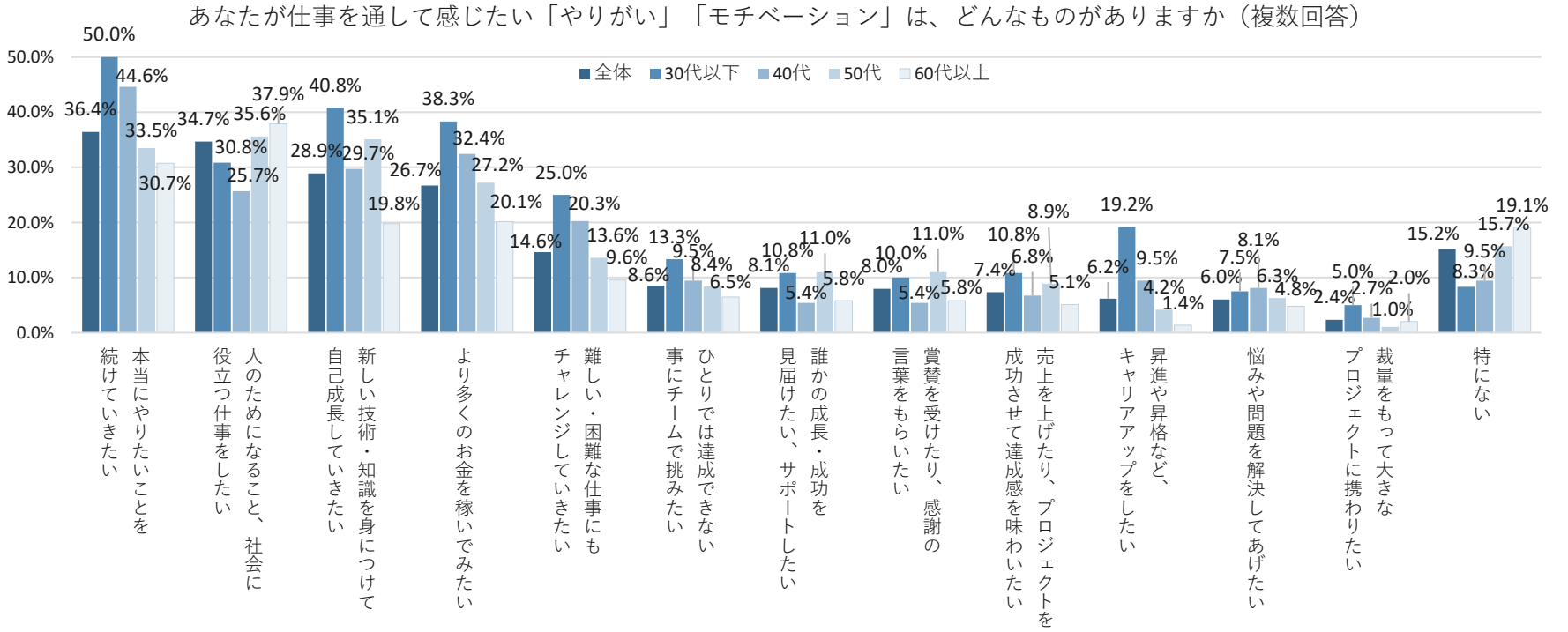



(c) AIDEM Inc.

# 仕事を通じて感じたい「やりがい」「モチベーション」

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、仕事を通じて感じたい「やりがい」や「モチベーション」についてきいた（複数回答）。最も多かったのは、「本当にやりたいことを続けていきたい」で36.4%、次いで「人のためになること、社会に役立つ仕事をしたい」が34.7%、「新しい技術・知識を身に付けて自己成長していきたい」が28.9%となった。

年代別にみると、「本当にやりたいことを続けていきたい」「より多くのお金を稼いでみたい」「難しい・困難な仕事にもチャレンジしていきたい」「一人では達成できないことにチームで挑みたい」「昇進や昇格など、キャリアアップをしたい」の項目は、年代が若いほど高く、年代が上がるにつれて低くなった。「30代以下」では多くの項目でほかの年代よりも高い傾向があり、様々な形でやりがいを感じていきたいことがわかる。募集をかける際には、企業が打ち出す仕事の「やりがい」の内容によってリーチしやすい対象が異なることを把握できていると出会いにつながりやすそうだ。



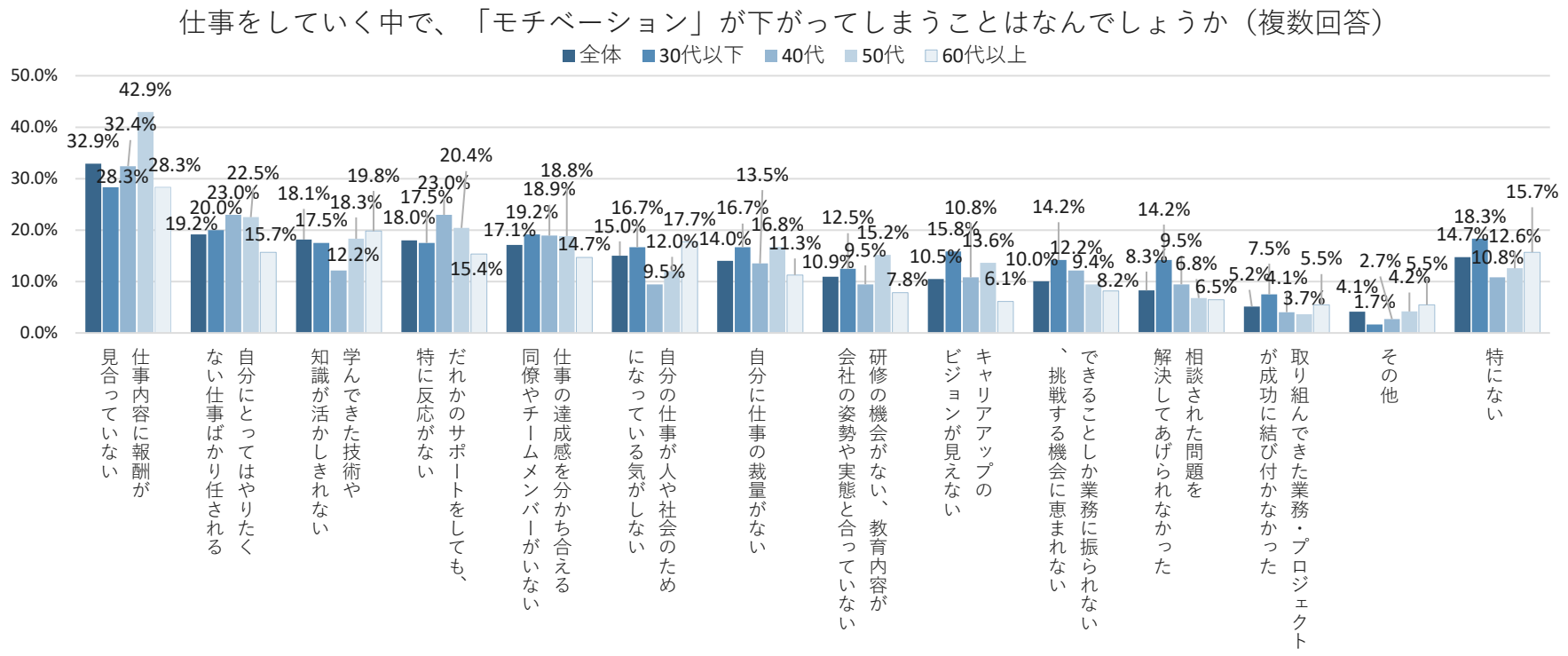


(c) AIDEM Inc.

# 仕事の「モチベーション」が下がってしまうこと

イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、仕事をしていくうえで「モチベーション」が下がってしまうことがあるかきいた（複数回答）。最も多かったのは「仕事内容に報酬が見合っていない」で32.9%、次いで「自分にとってはやりたくない仕事ばかり任される」が19.2%、「学んできた技術や知識が活かしきれない」が18.1%となった。

年代別にみると、「30代以下」では「キャリアアップのビジョンが見えない」「相談された問題を解決してあげられなかった」について全体と比べると意見が集まっており、仕事のモチベーションに負の影響があるようだ。問題解決には経験がより多い人からのサポートがあるとよいだろう。「50代」では「仕事内容に報酬が見合っていない」が他の年代より高くなった。この年代になるとマネジメントにも携わる人が多くなり、それまで感じてきた苦労とは別の大変さが増えたり、反対に仕事は同じでも役職が外れて賃金が下がることもあったりと、仕事と報酬面でのアンバランスさがより感じられ、報酬面での不満が高まりやすいのかもしれない。





(c) AIDEM Inc.